

令和3年度

倉吉市教育行政の点検及び評価

倉吉市教育委員会

令和4年5月

目 次

はじめに	1
1 評価・公表について	2
2 評価に当たって	3
3 主な重点施策の成果	3
4 令和3年度教育方針と重点施策	5
5 重点施策の実績と評価	6
・開かれた学校づくりの推進	6
・家庭教育の充実	6
・地域力を育む社会教育の推進	8
・公民館活動の推進	8
・「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館	10
・豊かな心を育む図書館	12
・幼児教育の充実	14
・学力向上の推進	14
・特別支援教育の充実	14
・組織的・機能的な学校運営	16
・安心して教育を受ける機会の推進	16
・教育環境の整備充実	18
・学校の適正配置の推進	18
・人権尊重社会の担い手づくり	20
・たくましい体の育成	22
・学校給食の充実、食育の推進	24
・体育・スポーツの振興	24
・倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成	26
・文化財の保存、活用、伝承	28
6 教育委員会の主な動向	30
(1) 教育長、教育委員の在任状況	30
(2) 教育委員会の会議	30
(3) 教育委員会の開催状況	30
(4) 総合教育会議の開催状況	33
(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加	33

はじめに

平成19年6月に「教育改革関連3法」の改正が行われ、その中で、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実に関する規定の整備を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表をしなければならないとされました。

倉吉市教育委員会では、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成23年に第11次倉吉市総合計画と連携した「倉吉市教育振興基本計画」を策定し、将来的な方向性や以後5年間（平成23年度～平成27年度）に重点的に取り組むべき施策を示し、平成28年には今後、一層進む少子高齢化社会に対応する教育行政をするために、「倉吉市教育振興基本計画（第2期）」（平成28年度～平成32年度）を策定して、各年度の「倉吉市の教育方針と重点施策」と「倉吉市教育行政の点検及び評価」により進行管理を行い、着実な計画の推進に努めてきました。その結果、倉吉市の教育理念「豊かな心を持ち、個性を発揮する人づくり」の実現を図るための様々な施策を展開することができました。

こうした中、本市の教育行政の更なる発展を見据えた次世代の教育が求められており、本市教育の目指すべき姿とその実現に向けたより実効性のある計画となるよう、教育委員会各課館所の連携を重視した「豊かな心を持ち 自立して生きる 未来を拓く 人づくり」を新たな教育理念に掲げ、第12次倉吉市総合計画（令和3年3月策定）と連携した「倉吉市教育振興基本計画（第3期）」（令和3年度～令和7年度）を策定しました。

倉吉市教育委員会は、「社会全体が協働し学び続ける環境づくり」、「創造性を培い、自立性・自主性を養う学校教育の推進」、「安心・安全な教育環境の充実」、「たくましく健やかな心と体づくりの推進」、「文化資源の保存活用と文化・芸術の振興」を教育目標と基本施策とし、自ら設定した教育に関する方針や施策の実現を図るために、事業等の取り組み状況を日々点検・評価を行いながら改善を図り、より充実したものにしていきます。

そのため、市民から信頼される教育行政を目指し、教育委員会や事務局の役割、事業の進捗状況等について説明責任を果たすため、重点的に取り組んだ19項目の点検・評価を行い、その結果を公表し、効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の会議の開催などの活動状況を記載し、ここに報告書としてまとめました。

《参照》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

1 評価・公表について

(1) 実施時期

点検及び評価は毎年度行うこととされており、当該年度における取り組み状況の点検・評価を年度内に行う。

(2) 評価の方法

教育委員会全般にわたり適正な教育行政の点検・評価や総合計画に掲げた目標水準の達成状況、施策の進捗状況との整合性を図りながら評価項目を策定し、評価にあたっては、審議会等に諮り、自己評価、外部評価を行う。

(3) 議会への報告

報告書を作成し議会に提出しなければならないこととされており、6月市議会に報告を行う。

(4) 一般への公表

課題を共有化しその解決を図るために広く意見を求め、より適正な評価に努めるために評価結果を市民に公表する。

(5) 各種教育関係機関の評価結果の活用

学校評価、社会教育団体、文化団体、スポーツ団体の評価結果の効果的な活用を行う。

(6) 外部の有識者等の知見の活用

○点検・評価・公表の流れ

教育委員会事務局の組織マネジメント(PDCA)及び業務評価システムの確立

P計画 → D実施 → C検証(中間評価) → A実行 → C評価(自己・最終)

4月 倉吉市の教育方針と重点施策を基にした各課の基本方針と実施計画を策定する



9月 重点施策の実施計画の進捗状況のチェックを中間評価とする。



2月 重点施策の実施状況を各課で自己評価をする。



3月 各課の担当する審議会等に自己評価結果を提出し、外部評価を最終評価とする。



4月 教育委員会定例会で業務評価として協議し、市議会に提出し、6月市議会に報告する。

市民へは、リーフレット、ウェブページ、市の広報誌等を活用して公表する。

2 評価に当たって

第12次倉吉市総合計画における、施策と教育委員会事務局で取り組んでいる施策との整合性を図りながら総合的な観点での評価に心がけた。評価に当たっては、令和3年度各事業の施策に示した目標に向かって、取り組むべき事業ごとに「目標」「実績」「成果」「課題」の観点に分けて行うこととした。また、評価項目については特に焦点化をはかり点検・評価の重点化を図ることとした。

○ 評価基準

平成24年度評価より評価基準を見直し、目標を上回る成果が上がった場合をA評価とした。目標値達成率を目安に、「成果」欄には、実績によって得られた成果を中心に評価を行った。

成果	判断基準
A	当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B	当初の目的・目標を達成した
C	当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D	当初の目的・目標を大きく下回った
評価せず	感染症対策等が原因で意図に反して目標を達成できないが、下回ってもいない

3 主な重点施策の成果

区分 施策と担当課	施策数	成果				評価 せず	総合
		A 目的・目標を上回る	B 目的・目標を達成	C 一部の進展に止まった	D 目的・目標を下回る		
1 開かれた学校づくりの推進							
学校教育課	3		2			1	B
教育総務課	2		2				
2 家庭教育の充実							
学校教育課	2	1	1				B
3 地域力を育む社会教育の推進							
社会教育課	2		2				B
4 公民館活動の推進							
社会教育課	2		2				B
5 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館							
博物館	4	1	3				B
6 豊かな心を育む図書館							
図書館	3	2	1				A
7 幼児教育の充実							
学校教育課	1		1				B
8 学力向上の推進							
学校教育課	3		3				B

区分 施策と担当課	施策数	成 果					
		A	B	C	D	評価 せず	総合
		目的・目標を上回る	目的・目標を達成	一部の進展に止まった	目的・目標を下回る		
9 特別支援教育の充実							
学校教育課	2		2				B
10 組織的・機能的な学校運営							
学校教育課	3	1	2				B
11 安心して教育を受ける機会の推進							
学校教育課	1		1				B
教育総務課	2		2				
12 教育環境の整備充実							
教育総務課	1		1				B
社会教育課	2	1	1				
13 学校の適正配置の推進							
学校教育課	1		1				B
14 人権尊重社会の担い手づくり							
学校教育課	4		4				B
15 たくましい体の育成							
学校教育課	1		1				B
社会教育課	3		3				
16 学校給食の充実、食育の推進							
学校給食センター	2	2					B
社会教育課	1			1			
17 体育・スポーツの振興							
社会教育課	4		3	1			B
18 倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成							
学校教育課	3		3				B
19 文化財の保存、活用、伝承							
文化財課	3	1	2				B
計	55	9	43	2		1	

令和3年度 倉吉市の教育方針と重点施策

～行きたい学校・
帰りたい家庭・
住みたい地域～

教育基本法

- ・人格の完成と、社会の形成者としての国民の育成
- 学校教育法
- 社会教育法
- 図書館法
- 文化財保護法
- 博物館法

【教育理念】

豊かな心を持ち 自立して生きる 未来を拓く 人づくり

【教育大綱】

- ・創造性を培い、豊かな心と健やかな身体を養う。
- ・幅広い知識を身に付け、自立して生きる力を養う。
- ・社会の一員として、多様な人とともに、協働する力を養う。
- ・郷土を愛し、自然を大切にし、伝統や文化を尊重する態度を養う。

第12次倉吉市総合計画

まちづくりの基本理念

【将来像】

- 元気なまち、くらしよし、未来へ！
- ### 基本目標3【教育・文化】
- 未来を拓く人を育て、芸術が輝くまちづくり

倉吉市教育の創造

- ・第3期倉吉市教育振興基本計画の進ちょく管理（5年計画の1年目）・働き方改革の推進
- ・倉吉市教育委員会の活性化（教育に関する事務の点検・評価の推進、総合教育会議、学校・公民館訪問）
- ・「倉吉市立小学校適正配置推進計画」に基づく学校再編の推進（各地区協議会での課題の明確化とその対応）
- ・ICTの活用推進

1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり

開かれた学校づくりの推進

- ・地域学校委員会の活性化
- ・「学校評価アンケート」の実施と結果の分析・公表
- ・倉吉市小中学校一斉公開 ・地域の次世代育成

家庭教育の充実

- ・PTA 連合会との共催による教育講演会 ・地域未来塾
- ・「くらし子育て応援ブック」の活用
- ・「倉吉の子育て十か条」の啓発、推進

地域力を育む社会教育の推進

- ・生涯にわたる学びの保障、機会の提供と環境整備（生涯学習講座、鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座の開催）
- ・将来の地域や社会を担う青少年の育成と活動の場づくり（放課後子ども教室、子ども会活動の支援、ハイスクールフォーラム、成人式実行委員会による成人式の実施）

公民館活動の推進

- ・人づくり、地域づくりにつながる公民館の機能強化（公民館研究指定事業等の実施）
- ・コミュニティセンター職員の研修の充実と資質向上（館長・主事研修会、連携・共有による研究活動、社会教育士資格の取得）

「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館

- ・美術賞の継続 ・テーマ性のある展示の展開
- ・教育普及活動の充実

豊かな心を育む図書館

- ・図書の収集（社会のデジタル化推進に対応するための図書、ビジネス支援・資格取得に関する図書）
- ・山上憶良短歌賞作品の募集 ・老朽施設の修繕

3 安心・安全な教育環境の充実

組織的・機能的な学校運営

- ・働き方改革の推進 ・共同学校事務室の設置

安心して教育を受ける機会の推進

- ・教員がきめ細やかな指導を行うために必要な人的配置
- ・相談体制の充実 ・各種就学援助の周知と適切な執行
- ・奨学金制度

教育環境の整備充実

- ・学校施設の適正な維持管理

学校の適正配置の推進

- ・適正配置協議会、各地域説明会の開催



4 たくましく健やかな心と体づくりの推進

人権尊重社会の担い手づくり

- ・「学校教育における人権教育の基本方針」に基づく人権教育の推進
- ・学校満足度アンケートの活用 ・相談体制の充実
- ・町内学習会の充実 ・情報モラル教育の推進

たくましい体の育成

- ・学校体育の充実 ・子どもの年齢に応じた体力づくりの推進

学校給食の充実、食育の推進

- ・栄養教諭などによる学校での食に関する指導
- ・親子で学ぶ食の教室の実施

体育・スポーツの振興

- ・スポーツ活動支援（スポ少補助、体育大会、全国大会補助等）
- ・体育施設の整備・充実（陸上競技場改修等）
- ・生涯スポーツの推進（スポーツ推進委員、ニュースポーツ交流会）

2 創造性を培い、自立性・自主性を養う学校教育の推進

幼児教育の充実

- ・幼児教育と小学校教育の連携・接続カリキュラムの作成・活用

学力向上の推進

- ・教員がきめ細やかな指導を行うために必要な人的配置
- ・相談体制の充実

特別支援教育の充実

- ・倉吉市「個別の支援計画」と「個別の指導計画」の活用
- ・小学校1年生対象の読みに対する早期支援



5 文化資源の保存活用と文化・芸術の振興

倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成

- ・小中学生リーダー会議開催 ・くらし風土記の活用
- ・成人式実行委員会

文化財の保存、活用、伝承

- ・大御堂廃寺跡の整備と活用・中尾遺跡第3次発掘調査

「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館【再掲】

- ・美術賞の継続 ・テーマ性のある展示の展開
- ・教育普及活動の充実

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	1 開かれた学校づくりの推進	1 地域学校委員会の活性化	学校教育 地域学校委員任命 ボランティア募集開始 地域コーディネーター・学校支援ボランティア活動(年間)	各校地域学校委員会の開催				各校地域学校委員会による関係者評価(1学期のまとめ)	各地区「教育を考える会」計画
		2 「学校評価アンケート」の実施と結果・公表、倉吉市小中学校一斉公開	学校教育 学校ウェブページの更新 前年度の学校評価結果にもとづく学校経営の重点化 PDCAのサイクルを意識した組織的・継続的な改善		学校一斉公表	アンケート結果の公表			
					参加者のアンケート実施				
		3 地域の次世代育成	学校教育 地域行事等での子どもの出番づくり 地域の次世代育成						
	4 ・基本計画に基づく重点施策実施計画の策定 ・教育に関する事務の点検・評価の推進	教育総務 基本計画に基づく重点施策実施計画の策定及び定例教育委員会へ実施計画提案			「倉吉市教育行政の点検及び評価」を市議会へ提出			進捗状況チェック、中間評価	
	5 ・倉吉市教育の方針の明示 ・住民の意向や教育現場の実情の把握 ・総合教育会議の充実 ・教育委員の活動の顕在化	教育総務 ・計画訪問・諸行事等への参加 ・市ホームページによる情報発信(YouTube等) ・教育長メッセージ(年度始め) ・総合教育会議の開催(5/27) 東伯地区・倉吉市教育委員合同研修会		第1回(延期)		第1回 第2回(中止)			
					市町村研究協議会研究大会	市町村教育委員研修会(県主催)			
2 家庭教育の充実	1 PTA連合会との共催による教育講演会	学校教育 携帯電話、スマートフォンのルールづくり検討							
2 地域未来塾	学校教育 地域未来塾指導者募集 生活困窮家庭への支援(福祉部局との連携)		地域未来塾担当者との打合せ 生徒募集	地域未来塾の実施(はばたき文化会館、上井コミュニティ)					

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
各地区「教育を考える会」実施		各地域学校委員会(2学期のまとめ)		倉吉市地域学校推進協議会【コロナ感染予防】	各地域学校委員会による関係者評価(3学期のまとめ)		B	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての小中学校が地域学校委員会を開催し、コロナ禍の影響を受けながらも地域との連携が強化された。 ●コロナ禍において、全ての学校が学校行事をはじめとする各種教育活動の実施や内容について地域学校委員会と協議し決定することで、地域代表からの理解を深めることができた。
					活動状況報告の集約			
学校ごとの学校公開 参観者のアンケート実施		保護者・教職員・児童生徒アンケートをもとにした学校自己評価(中間)と関係学校評価の公表			次年度に向けた改善策の検討と関係者評価及び公開		B	
アンケート結果の公表								
定例教育委員会へ中間評価の報告					・実施状況チェック、各課の自己評価 ・審議会等による評価の実施	・教育行政の点検・評価を行うとともに、実施計画を作成、10月に進捗状況を確認、3月に各課による自己評価を行った。	B	<ul style="list-style-type: none"> ●各学校ウェブページにおいて、積極的な学校情報公開が行われた。 ●児童生徒の頑張りを全校や職員全体で共有する、児童生徒による行事のPDCAサイクルの実施など、豊かな学びづくりについて、7割の学校で成果があった。 ●地域人材の活用や、オンラインでの卒業式配信など、工夫した活動が地域からの評価につながった。 ●新型コロナウイルス感染症対応のため、未実施であった。
						・新型コロナウイルス感染症対応のため、未実施であった。	-	
	第3回(中止)				・教育長メッセージ(新年)		B	<ul style="list-style-type: none"> ●各施策について概ね当初の計画通り実施することができた。 ●教育委員の活動、教育委員会会議、総合教育会議等の情報発信を行った。ホームページ上の不適切な掲載については、再発防止の強化を図る。
		総合教育会議の開催						
教育講演会	教育委員との教育懇談会	教育講演会			携帯電話、スマートフォン使用についてのガイドライン作成		B	<ul style="list-style-type: none"> ●講演会参加者へのアンケートでは90.3%が満足と回答があった。情報モラルに対する意識は高まった。今後、各学校での研修として「実施してみたい」が48.4%、「検討したい」が48.4%であった。保護者の意識は高まった。他の保護者への啓発が課題である。
				上井教室閉鎖式(2/26)中止	はばたき教室閉鎖式(3/3)中止	倉吉地域未来塾を7月から2会場で運営、実施した。気象警報や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を取り止めた場合があったが、昨年度に続いて人数を制限して開催した。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取県版新型コロナ警報「特別警報」発令及び気象警報発令による中止があったが、以下のように実施した。 上井教室18回 はばたき教室22回 ●中学3年生の参加者全員(6人)が、希望する進路へ進むことができた。
						生徒は学習指導者の支援を受けながら熱心に楽しく学習に取り組んだ。		

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	3 地域力を育む社会教育の推進	1 生涯にわたる学びの保障、機会の提供と環境整備	社会教育 ・生涯学習講座の開催 ・鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座の開催	・生涯学習講座の開催		・第1回 60人	・県連携講座 30人 ・ 第2回 大雨のため延期 ・ 第3回 コロナのため延期	・ 第4回 コロナのため延期	・第1回 53人 ・ 第5回 コロナのため延期
		2 将来の地域や社会を担う青少年の育成と活動の場づくり	社会教育 ・各地区子どもいきいきプラン実施 ・関金放課後子ども教室（児童館連携型）開級 ・放課後子ども教室（1地区） ・成人式実行委員募集	・放課後子ども教室運営委員会 ・子ども会連絡協議会総会（書面決議） ・市子ども会育成者研修会（中止） ・市子ども会リーダー研修会（中止） ・中部少年少女のつどい ・夏休み子ども体験教室 ・はた織り&草木染め体験教室 9人 ・ドキドキ土器づくり教室土器づくり編 16人	・夏休み子ども体験教室 ・ものづくり体験 20人 ・ドキドキ土器づくり教室野焼き編 15人 ・ペーパーナイフづくり教室 3人	・成人式実行委員会（企画準備） ・R3成人式実行委員会（事前リハーサル）	・成人式実行委員会（企画準備） ・R3成人式オンライン開催		
		倉吉地区少年補導センター事業への参画、青少年育成協議会との連携 ・街頭補導（毎月） ・第1回運営委員会（書面） ・高校生マナーアップさわやか運動（中止）	・第1回評議委員会（書面） ・「家庭の日」絵画作品募集 ・第1回倉吉市青少年育成協議会	・第1回倉吉市青少年育成協議会	・第2回運営委員会（書面） ・青少年育成者研修会 ・「家庭の日」絵画作品募集 ・第1回倉吉市青少年育成協議会	・「家庭の日」絵画作品審査会 ・高校生マナーアップさわやか運動 中止			
		・公民館研究指定事業、地域活動指導者養成講座の委託、運営支援							
4 公民館活動の推進	1 人づくり、地域づくりにつながる公民館の機能強化	社会教育							
	2 コミュニティセンター職員研修の充実と資質向上	社会教育 ・職員初任者研修会 ・職員研修会	・館長研修 ・主事研修会	・主事研修会	・主事研修会	・主事研修会	・主事研修会	・主事研修会	・主事研修会

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
<ul style="list-style-type: none"> 第2回 51人 第3回 50人 	<ul style="list-style-type: none"> 第4回 39人 第5回 45人 特別講座 55人 市内市外研修 10人 第2回 63人 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回 31人 第4回 59人 第5回 61人 				<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座「答えない時代を生きる私たち」と題し、新型コロナウイルス感染症予防策を講じた上で全5回講座・研修を実施した。感染症や変化する時代を大きなテーマに現況や学習者のニーズを踏まえた学びの機会を提供することができた。 看大・鳥短公開講座「令和の時代をいきいき生きる～コロナ後の世界に向けて」をテーマに実施。コロナの影響を受けたが、開催時期を変更することで、計画していた全5回の講座を実施することができた。 	B		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座及び鳥取看護大学・短大公開講座について、コロナ感染状況により一部計画変更を行ったものの、コロナ禍にあって市民の関心の高い感染症と関連した内容を専門的あるいは実践的な視点で取り上げ、市民の学習ニーズに応じた学習機会を提供することができた。
<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室運営委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室運営委員会 市子ども会リーダ研修会(中止) 台湾台中市オンライン交流会 	<ul style="list-style-type: none"> 中部ハイスクールフォーラム 会場71人 視聴42人 			<ul style="list-style-type: none"> 市子ども会育成者研修会(資料提供) 市子ども会リーダ研修会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室事業 各地区における放課後子ども教室を市内で13教室、年間を通して実施。また事業進捗状況の確認及び情報交換を行う運営委員会を2回実施。コロナのため事業が十分実施できなかった地区もあったが、多くの地区が工夫をして事業を実施した。 子ども会 新型コロナウイルスのため、研修会等を中止にした。研修に代わるものとして「倉吉市子ども会育成テキスト」を配布し、コロナ禍の中でもまなびの機会を提供できた。 その他 「夏休み子ども体験教室」「中部青少年のつどい」「中部ハイスクールフォーラム」を実施 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室の各地区等における取り組み、子ども会活動への支援、その他青少年を対象とした事業について、コロナ禍の中感染対策を講じながら、インターネットの活用や資料提供への代替等、創意工夫をして青少年の育成を図る活動の場や学習の機会を提供することができた。
<ul style="list-style-type: none"> 成人式実行委員会(企画準備) 	<ul style="list-style-type: none"> 成人式実行委員会(企画準備) 	<ul style="list-style-type: none"> 成人式実行委員会(事前リハーサル) 成人式実行委員会(未来中心下見/打合せ) 	<ul style="list-style-type: none"> 成人式 実行委員会OBボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> 成人式実行委員会(反省会) 	<ul style="list-style-type: none"> 成人式実行委員会(反省会) 	<ul style="list-style-type: none"> 延期とした令和3年成人式をオンラインにより開催。 令和4年成人式について、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、集会形式で開催。参加者には新型コロナウイルス抗原検査済みまたはPCR検査陰性の確認を行った。 15名の実行委員が主体となって成人式実行委員会企画の準備を進めた。コロナ禍ではあったが、リモート会議を活用することで協議の場を確保した。 OB・OGの体験談や助言を受けて、より充実した企画内容の検討や円滑な準備につながった。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 新成人による実行委員会を組織し、自ら主体的に成人式の企画運営を行うことを通じて、将来地域や社会を担う若い世代の人材育成につながる取り組みができた。
<ul style="list-style-type: none"> R3成人式実行委員会(反省会) 									
<ul style="list-style-type: none"> 第3回運営委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成者研修会(資料配付) 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回倉吉市青少年育成協議会 	<ul style="list-style-type: none"> 第4回運営委員会(書面決議) 「家庭の日」絵画作品巡回展 12日～21日 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回評議委員会(書面決議) 		<ul style="list-style-type: none"> 倉吉地区少年補導センター コロナの感染状況に応じた補導活動の実施、運営委員会及び評議委員会の書面による開催、資料配付による研修会の実施 青少年育成協議会 協議会の開催、各地区における青少年育成事業の委託、家庭の日作品巡回展の実施。 			<ul style="list-style-type: none"> 倉吉地区少年補導センター、倉吉市青少年育成協議会と連携した青少年健全育成の活動及び啓発等を行うことができた。
						<ul style="list-style-type: none"> 上北条、西郷、上灘、社、北谷、小鴨地区 「地域づくり講座」 上井地区 「青少年教室」 成徳、上小鴨 「タウンカレッジ」 明倫、灘手地区 「成人講座」 高城地区 「家庭教育支援学級」 関金地区 「地域福祉講座」 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 公民館研究指定事業について、全地区に委託して実施。各地区それぞれの地域課題に応じたテーマ・内容について、住民が企画や運営に関わりながら主体的に学び、地域の課題解決につながる取り組みとなった。
<ul style="list-style-type: none"> 館長研修 	<ul style="list-style-type: none"> 主事研修会 		<ul style="list-style-type: none"> 主事研修会 社会教育主事講習 1/24～2/15 	<ul style="list-style-type: none"> 主事研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 主事研修会 社会教育主事講習 4日～10日 	<ul style="list-style-type: none"> 初任者研修1回、館長主事合同の全体研修1回開催。 毎月開催される館長会において自主研修を3回実施。 主事研修については、年間計画に基づき9回実施。 社会教育主事講習を主事8人が受講、社会教育士の資格取得。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンター所管課である地域づくり支援課と連携し、コミュニティセンター職員との研修に携わり、計画に基づき実施した。また、社会教育主事講習の受講を通じて資質向上を図ることができた。

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	5 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館	1 テーマ性のある展示の展開	博物館	<ul style="list-style-type: none"> 共催展「片岡鶴太郎展 顔-faces-」開催(24日～5月23日) 片岡展プレ展示(3日～18日) 美術所蔵品展(3月30日～4月18日)「花の咲く風景」 考古所蔵品展(3月7日～6月27日)「よみがえる古代の美」 歴史民俗資料所蔵品展(2月28日～5月27日)「倉吉の土天神/和の模様～緋と菓子」 館外展示淀屋「土天神」 		<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市美術展覧会(13日～22日, 27日～7月6日) 	<ul style="list-style-type: none"> 考古所蔵品展(6月30日～8月9日)「よみがえる古代の美II」 歴史民俗資料所蔵品展「夏の風物詩～民具とことわざ」(7月15日～8月15日)美しい手仕事～緋と染～(7月23日～9月26日) 	<ul style="list-style-type: none"> 人間国宝・大坂弘道展(8月21日～9月26日) 美術所蔵品展(7月21日～8月15日)「生誕100年徳吉英雄/菅橋彦とゆかりの人々」 	
		2 美術賞(菅橋彦大賞)の開催	博物館	<ul style="list-style-type: none"> 作品展示作業等業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 指名作家に対し作品制作確認及び搬入場所等の案内 		<ul style="list-style-type: none"> 作品審査会(倉吉博物館) 審査結果広報 ポスター、チラシ等印刷物作成 	<ul style="list-style-type: none"> 京都会場展示(京都文化博物館)中止 倉吉会場展示(倉吉博物館 21日～9月26日) 鳥取県関係作家作品展 	<ul style="list-style-type: none"> 第10回記念シンポジウム(中止)
		3 教育普及活動の充実	博物館	<ul style="list-style-type: none"> 博物館講座「フラワーボールペンを作ろう(→延期)」 自然ウォッチング 	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察さいしょの一步 	<ul style="list-style-type: none"> 水墨画を体験してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> フラワーボールペンを作ろう 		<ul style="list-style-type: none"> 菅橋彦の書を見よう
		4 (新)博物館施設の改修(警報設備改修・新型コロナウイルス感染拡大予防改修・空調設備及び照明設備改修)	博物館	<ul style="list-style-type: none"> 警報設備改修設計依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 警報設備改修設計依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 感染拡大予防改修工事(6月補正) 設計管理業務起工 	<ul style="list-style-type: none"> 警報設備改修起工 設計管理業務入札・契約 	<ul style="list-style-type: none"> 警報設備改修入札 空調設備及び照明設備改修設計業務変更契約 	<ul style="list-style-type: none"> 警報設備改修契約 設計業務部分完了 感染拡大予防改修工事起工・入札・契約

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
<ul style="list-style-type: none"> ・考古所蔵品展 (10月24日～2月8日) 「よみがえる古代の美Ⅲ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県美術展覧会 (6日～13日, 17日～23日) ・歴史民俗資料館所蔵品展 (11月30日～12月28日) 「古い道具と昔のくらし」 	<ul style="list-style-type: none"> ・坂野真人作品展 (18日～26日) 		<ul style="list-style-type: none"> ・美術所蔵品展 (2月4日～3月13日) 「郷土の洋画家たち/美術賞の作家たち」 ・考古所蔵品展 (2月11日～) 「よみがえる古代の美Ⅳ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市創作文華展 (17日～21日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「片岡鶴太郎展」、「倉吉市美術展覧会」、その他共催展等、計画どおりに開催できた。開催前には、日本海新聞「博物館だより」企画展等の展示内容を掲載し、郷土の文化芸術等を広く周知できた。 ・特別展「人間国宝・大坂弘道展」においては、最晩年の作品や道具類、図案などを展示し、また制作現場を再現することにより、大坂先生の作品の制作過程に触れていただく機会を提供できた。 ・常設展では、美術部門、考古部門、民俗部門とも計画的におりにテーマを設定して展示替えを行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「片岡鶴太郎展」、企画展「市展」「創作文華展」を予定どおりに開催した。また常設展において各部門の収蔵資料を時機を捉えたテーマを設定し展示公開することで、「知る喜び」を感じていただくことができた。 ●特別展「人間国宝・大坂弘道展」の来館者アンケートによると、作品の細部に至る丁寧で繊密な技巧を用いた作品の素晴らしさに感動したとの感想が多数寄せられている。また、作品はもちろんだが、制作過程や下絵、道具類、制作中の部品の展示を行うことにより大坂先生の息遣いまで届いたように感じるなどの声をいただき、作品の制作過程を知る喜びを感じていただけた。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民賞広報 ・作品返却 				<ul style="list-style-type: none"> ・受賞作品の展示広報 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、従来大阪市内で行っていた審査会を初めて倉吉博物館で実施した。また、京都会場の展示、表彰式及びシンポジウムを中止した。また、受賞者も来館できない状況であった。 ・大賞、市民賞を買い上げることにより、今後も市民の皆様にご覧いただけた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「第10回菅橋彦大賞展」については、特別展「人間国宝・大坂弘道展」と同時開催することにより、様々な層の方に鑑賞の機会を持っていただくことができた。 	
<ul style="list-style-type: none"> 倉吉餅及び倉吉千歯の調査実習 	<ul style="list-style-type: none"> 大山の火砕流を見よう 	<ul style="list-style-type: none"> 切り絵に挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> 大御堂廃寺と出土遺物 	<ul style="list-style-type: none"> 昭和の合併と倉吉市誕生の歩み (中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 普賢堂から家族墓へ (中止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座は、計画10回に対し、8回 (うち1回は鳥取県史連携講座を鳥取県立公文書館と共催) 開催した。2回は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。 ・自然ウォッチングは、動物5回、植物2回、天体1回を開催した。天候不良、新型コロナウイルス感染症予防のため2回中止した。 ・夏休み自然科学展を予定どおり開催した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●倉吉博物館講座及び自然ウォッチングは、新型コロナウイルス感染症予防のため、定員を設け事前申込みとしたことにより、受講者数は減ったものの、多様なテーマでの講座や観察会の実施により知る喜びを感じていただくことができた。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・警報設備改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 天神川のサケを見よう 		<ul style="list-style-type: none"> 国府川の水鳥を見よう 		<ul style="list-style-type: none"> 春の打吹山を見よう 	<ul style="list-style-type: none"> ・警報設備改修工事は、予定どおり完了し、受信機、副受信機、発信器・地区ベルの改修を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大予防改修工事は、予定どおり完了し、博物館男女トイレの抗菌改修、エントランス・裏通用口の自動ドア化、資料館トイレの抗菌改修を行った。 ・空調設備及び照明設備改修工事設計業務は、照明設備の実設計は工事発注時期を考慮し、先送りしたが、空調設備の実設計は予定どおり完了した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●警報設備改修工事の実施に当たっては、国の有利な補助制度を活用し、老朽化した受信機等を予定どおり改修することができた。 ●感染拡大予防改修工事については、開館しながらの工事となり、来館者にご迷惑をおかけすることとなったが、時機を待たずエントランス、裏通用口の自動ドア化、トイレの抗菌改修を行うことにより、コロナ対策を行いながら、さらに長年の懸案であったバリアフリーの改修をすすめ、安心安全な鑑賞環境を提供することができた。 	

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	6 豊かな心を育む図書館	1 読書活動の推進	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート(絵本プレゼント・読み聞かせ) ○6か月 ○1歳6か月 	<ul style="list-style-type: none"> ○6か月 ○1歳6か月 	<ul style="list-style-type: none"> ○6か月 ○1歳6か月 	<ul style="list-style-type: none"> ○6か月 ○1歳6か月 	<ul style="list-style-type: none"> ○6か月 ○1歳6か月 	<ul style="list-style-type: none"> ○6か月 ○1歳6か月
		2 対象者のニーズに応じた事業・サービスの提供	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなしかい ○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話 	<ul style="list-style-type: none"> ○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話 	<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉民具講座(共催：鳥取県立公文書館) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話 	<ul style="list-style-type: none"> ○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話 	<ul style="list-style-type: none"> ○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話
		3 山上愷良短歌募集・文芸団体への支援	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・音読教室(高齢者) 第1回(中止) ・起業・経営なんでも相談会 第1回 ・ビジネス情報相談会 ・特許等相談会 ・就農相談会 ・わくわく子育て応援コーナーの充実(子育て世代) ・進学・就職応援コーナーの充実(中高生) ・音訳・点訳資料作成(障がい者) 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回(中止) 第2回 第2回 第2回 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回 第2回 第3回 第2回 	<ul style="list-style-type: none"> 第4回 第3回 第3回 第3回 	<ul style="list-style-type: none"> 第5回 第4回 第4回 第4回 	<ul style="list-style-type: none"> 第6回 第5回 第5回 第5回
				<ul style="list-style-type: none"> 【山上愷良短歌募集事業】 ・第1回実行委員会(実施要項決定・広報開始) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国結社などに広報協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品受付 ・山上愷良を学ぶ授業 ・関連資料の館内展示・事業PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・興歌人会による小学生作歌指導 		
				<ul style="list-style-type: none"> 【倉吉文芸】 ・第1回編集委員会(実施要項決定・広報開始) 	<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉文芸広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品受付 			

取り組み計画						実績	実績 評価	施策 評価	最終評価	
10月	11月	12月	1月	2月	3月					
○6か月 ○1歳6か月	○6か月 ○1歳6か月	○6か月 ○1歳6か月	○6か月 ○1歳6か月	○6か月 ○1歳6か月	○6か月 ○1歳6か月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業は、読み聞かせ指導が思うようにできなかったが、絵本プレゼントなど子ども家庭課と連携して実施した。 ・おはなしかい、3密対策がなかなか取りづらいことから中止する機会が多くなった。 ・そうした中、「とっとり建設女星ネットワーク」によるおはなしかいとワークショップ（倉吉・せきがね）を開き、小さなお子様連れの親子に楽しんでいただいた。 ・倉吉パークスクエアオープン20周年記念として関係団体との共催事業を開催し、展示コーナーを設けたり出前図書館を実施し読書活動推進につなげた。 	A			
○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話	○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話 ○けんせつ絵本ワークショップ	○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話	○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話 ○けんせつ絵本ワークショップ	○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話	○あかちゃん ○3歳～小学生 ○むかし話					
<ul style="list-style-type: none"> ・第75回読書週間 ・絵本作家子育て講演会（共催：中部読書活動推進フォーラム実行委員会） ・読書活動推進啓発（鳥取県立図書館連携） ・ぬいぐるみのおとまりかい ・倉吉民具講座（共催：鳥取県立公文書館） 	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川中学校スタンプラリー（学校図書館連携） ・市生涯学習講座特別講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなしかい小道具作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・お正月企画 				<ul style="list-style-type: none"> ●自館だけの取組に終始せず、倉吉パークスクエアオープン20周年記念として取り組んだ種々の共催事業や、とっとり建設女星ネットワークとの新たな連携、そしてボランティアグループの垣根を越えて一緒に人材育成を図ろうとする取組の支援など、意図的に関係団体にアプローチし、連携を深めていった。 ●新型コロナウイルス対策を講じたり、代替のものができず中止せざるを得なかったもの、あるいは山上憶良短歌賞のように不可抗力で応募数が減少してしまったものもあるが、年間を通しては計画した以上の取組により成果を出せたものと考えている。 ●図書館が、多様性を持って市民の豊かな心を育み、そして暮らしに役立つ情報の発信・提供により地域のハブとなれるよう、引き続き取り組んでいく。 			
第7回	第8回	第9回	第10回（中止）	第11回（中止）	第12回（中止）			A		
第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・音読教室は、大声を出して読むことが目的であり3密対策が取りづらいことから中止する機会が多くなった。 ・各種相談会は、関係機関と調整しながらオンライン開催に切り替えて対応した。 ・各展示コーナーは、資料収集方針に基づき計画的に資料充実を図り、ポップや装飾なども工夫しながら楽しんでいただいた。 ・特に、期間限定ではあったが、「とっとり建設女星ネットワーク」との新規の連携が始まり、当館が所蔵していないけんせつ絵本をお借りして、利用者へ貸し出し、小さなお子さんに喜んでいただけた新たな魅力と機会が増えた。 ・音訳資料作成においては、人材育成を図るための勉強会「のはなバル」が立ち上がり、2つの音訳ボランティアグループから複数人集まり、毎月開催されることとなった。 				
第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回					
第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回					
	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回					
	<ul style="list-style-type: none"> ・就農相談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者のためのセミナー（共催：農山漁村文化協会中四国支部） 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流ライブラリー講演会（共催：鳥取県立図書館） 							
							B			
							B			
							B			
							B			

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
2 創造性を培い、自立性・自主性を養う学校教育の推進	7 幼児教育の充実	1 「幼児教育、小学校教育連携カリキュラム」の作成・活用 幼児の子育て支援体制の継続・充実	学校教育	スタートカリキュラムの実施	小学校区連携推進計画の作成	倉吉市幼児教育研究会		倉吉市幼児教育研究会(研修会)	
				系統的な子育て相談体制			5歳児すこやか相談		
	8 学力向上の推進	1 「主体的・対話的で深い学び」を旨とした授業改善	学校教育	研究主任研修(オンライン) 教育センター研修 校内授業研における指導助言、要請訪問(年間)	研究主任訪問(年会各校2回)		学校計画訪問での指導助言(西郷小・西中・久米中)	研究主任研修会(オンライン)	
				中学校区教育の計画作成	中学校NRT(標準学力検査)実施 全国学力学習状況調査実施		要請訪問(成徳小・社小)	中学校区別小中合同研修会 要請訪問(北谷小)	要請訪問(河北小)
				異種校経験者の講演・講義					
				ICT活用推進・デジタル教科書、学習支援ソフト等	ICTを活用したとっとり授業改革推進事業(西中・小鴨小・明倫小・上小鴨小)			取り組み事例の集約と検討	
		2 学力向上推進	学校教育	小学校高学年の教科担任制推進	推進校2校で実施				
				ICT環境整備(児童生徒用端末整備・校外ネットワーク整備他)					
				ICT活用推進					
				ICT活用推進					
3 情報教育の推進	学校教育	eラーニング教材(すらら)導入研修会	ICTを活用したとっとり授業改革推進事業(西中・小鴨小・明倫小・上小鴨小)	プログラミング学習公開(明倫小)11月に延期	ICT支援員の配置・支援	ICT支援員による巡回支援	ICT活用学習公開(小鴨小)		
		ICT支援員の配置・支援					第1回学習状況確認テスト		
9 特別支援教育の充実	1 「個別の支援計画」と「個別の指導計画」の活用 ～支援を必要とする児童生徒を支える学校体制づくり～	学校教育	特別支援教育主任研修会 個別の支援計画・指導計画の作成	自立活動研修会(指導計画について)		特別支援教育主任研修会(教育課程・教科書)	1学期振り返り 1学期の評価と2学期の目標設定	自立活動研修会(小・中)	
			就学支援連携名簿の共有 前期1年生、特別支援学級訪問	小中学校・養護学校体験の実施				倉吉市就学支援委員会	
	2 小学校1年生対象の読みに対する早期支援	学校教育		1年生担任対象MIM研修会	第1回MIM-PM MIM検討会		1年生担任対象MIM研修会		

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
アプローチカリキュラムの実施	倉吉市幼児教育研究会(公開) 5歳児すこやか相談	社校区公開授業・研修会	5歳児すこやか相談	倉吉市幼児教育研究会		・新小学1年生用リーフレットの見直しを行う。来年度完成予定。 ・研究会についてはコロナ感染拡大防止のため中止した。	B	B	●推進事業を行っている社小校区では、連携が進んだ。この取組を各小学校区に広げることが課題である。
学校計画訪問での指導助言(高城小・鴨川中) 研究主任研修会(8月実施)	学校計画訪問での指導助言(河北小・成徳小・上小鴨小・社小) 学校評価による点検	成果と課題の共有と改善策についての検討(研究主任者会等)	授業づくりに対する指導助言	授業づくりに対する指導助言	学力実態の把握と分析	・中部教育局と連携し、研究主任研修、研究主任訪問を実施し、研究推進に係る助言を行った。 ・1人1台端末活用について推進校を中心に活用事例等の共有を進め、各校での活用を推進した。	B		●全国学力学習状況調査の質問紙調査 ・「授業で課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んだ」に肯定的な回答の割合(全国比) 小6:78.4(+0.2) 中3:83.6(+2.6) ・「質問:話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができているか」に肯定的な回答の割合(全国比) 小6:84.4(+5.6) 中3:78.8(+1.0) *成果指標 A:80%以上 ⑧:60%以上80%未満 C:60%未満 ●教員の理解は深まっているが、具体的な授業改善についてはまだ教員によって差がある。
中学校区合同研究授業	中学校区別小中合同研修会	中学校CRT実施	小学校NRT実施	特色ある中学校区教育の成果と課題の把握と改善策の提案		・要請訪問7回実施。授業の質の向上について指導助言を行った。 ・各種学力調査を実施し、結果をもとに本市の学力課題について分析を行った。結果概要を教育委員、学校教育審議会等へ伝達し、ホームページにて公開した。また、結果をもとに各小中学校へ学力向上の活用・実践をはたらきかけた。 ・小学校教科担任制について、推進校2校が県の事業に沿って実施した。 ・ICT教育に必要な環境を概ね整備することができた。	B	B	●全国学力学習状況調査の結果 ・小学6年正答率(全国比) 国語 66.0(+1.3) 算数 69.0(+1.2) ・中学3年正答率(全国比) 国語 63.0(-1.6) 数学 58.0(+0.8) *成果指標 A:全国平均より3ポイント以上上回る ⑧:全国平均と概ね同程度 C:全国平均より3ポイント以上下回る ●児童生徒の学力は全国平均とほぼ同等である。 ●学力の二極化への手立が引き続き必要。
要請訪問(河北小・上小鴨小)	要請訪問(明倫小)		要請訪問(東中)		今年度の成果の集約と次年度活用の指針				
		取り組み事例の集約と検討		推進校2校が実施報告を提出(成果と課題分析)					
推進校2校で後期時間割を再編成									
ICT活用学習公開(西中)	プログラミング学習公開(明倫小) 第2回学習状況確認テスト	ICT活用学習公開(小鴨小)9月に変更				・eラーニング教材「すらら」の活用率は100%。学習状況確認テストを導入し、個別最適化学習が可能となった。 ・西中校区の推進事業では毎月ICT担当と事務局が連絡会を行い、実践の共有・実行ができた。	B		●学校行政評価アンケート ・タブレットを使った授業で「学習がわかりやすくなった」と回答した児童生徒の率 小:85.9% 中:75.6% *成果指標 A:90%以上 ⑧:70%以上 C:70%以下 ●「まずは活用してみる」という目標で取り組み、ほぼ達成できた。
				倉吉市子どもの発達支援研修会	年間振り返り 3学期の評価と来年度の目標設定・引き継ぎ	・各学校の個別の支援計画、指導計画については特別支援学級訪問時に点検し、指導を行った。 ・支援計画については支援会議等で活用した。 ・就学支援委員会では112名の審議を行った。	B		●支援計画、引き続きで活用したり、各学期毎に評価したりすることで一人一人の支援について考えることができた。
後期1年生、特別支援学級訪問		2学期の評価と3学期の目標設定							
第2回MIM-PM MIM振り返り		第3回MIM-PM MIM検討会 2学期振り返り		第4回MIM-PM		・MIMの指導教材をデジタル化し、各学校へ提供した。 ・個別対応が必要な児童に指導教材を活用してもらい、向上を確認した。	B	B	●MIM 6月→12月→2月 3rd 55%→26%→21% 2nd 14%→18%→26% (3rdとは個別に支援の必要な児童、2ndとは集団の中で個別の声かけが必要な児童) ●数値として3rdの値が減り、2ndの値が増えた。個別の支援が必要な児童が減り、集団の中での支援で対応ができるようになり、改善されてきた。

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3 安心・安全な教育環境の充実	10 組織的・機能的な学校運営	1 組織的・機能的な学校運営体制の確立	学校教育	意図的・計画的・継続的なOJTの実践			研修内容と実際の業務との差がないかの評価・改善			
		2 働き方改革の推進	学校教育	校務分掌の整理と合理化 学校評価と評価・育成制度とのリンクによる個々の教職員のミッションの自覚	安全衛生推進協議会開催		教職員評価・育成制度実施 学校公開時アンケート実施	安全衛生推進協議会開催	学校閉庁日の設定	安全衛生推進協議会開催
		3 共同学校事務室の設置	学校教育	責任者会の開催 共同事務室に向けた備品搬入 事務の効率化・標準化に向けた取組		責任者会の開催 業務担当者会の開催		業務担当者会の開催 事務職員全員研修会開催		責任者会の開催
	11 安心して教育を受ける機会の推進	1 相談体制の充実	学校教育	SSWrによる支援活動(年間) SSWrによる学校訪問(月1回) 心の教室開設	教育心理相談士による研修会(心の教室相談員対象)					教育心理相談士による研修会(心の教室相談員対象SSWr対象)
		2 教育助成の充実(就学援助事業の周知と適切な執行)	教育総務	就学援助の委任状・口座等とりまとめ 修学旅行費支払い		学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費希望取りまとめ	特別支援教育就学奨励費支給決定			学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費支払い
		3 ・高校生等通学費助成の実施(周知と適正な執行)	教育総務	制度周知 仮申請受付					通学費補助金申請受付 55件	

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		研修内容と実際の業務との差がないかの評価・改善			実務を通じて業務のノウハウを習得				
学校公開時アンケート実施		保護者・教職員・児童生徒アンケートをもとにした学校自己評価(中間)と関係者評価	教職員評価・育成制度実施			・各学校で学校自己評価を実施し、今年度の反省と次年度の改善につながる評価を行った。	B		<ul style="list-style-type: none"> ●学校自己評価により、各校の自己評価を実施した。 ●児童生徒の良さを職員全体で共有するなど、職員全体で個々の児童生徒育成に努める体制が広がってきた。 ●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、学校公開とアンケートは未実施であった。
		学校閉庁日の設定	学校閉庁日の設定	安全衛生推進協議会開催	次年度の学校行事計画	・安全衛生委員会を年4回実施し、教職員の残業時間が減少した。 ・ハラスメント防止要綱の制定を行った。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ●30時間超勤務教職員割合 令和2年度 51% 令和3年度 39%
		学校管理規則改定	責任者会の開催 業務担当者会の開催 事務職員全員研修会開催		責任者会の開催 共同学校事務室設置準備	・令和4年度の本格実施に向け、事務室の設置が完了した。	A		<ul style="list-style-type: none"> ●各事務室において、特徴的な取り組みがなされた。 ・「事務処理の流れ」作成 ・新規採用者育成
		加配要望 少人数学級、教員補助員予算要求				・SSW rが東中・西中・河北中は週1回、久米中・鴨川は隔週で開催される「いじめ不登校生徒支援委員会」に出席し、生徒の情報共有と助言を行った。 ・小学校には3日欠席連絡で状況の聞き取りを実施。必要に応じて支援会議や家庭訪問に参加し、早期支援を行った。	B		<ul style="list-style-type: none"> ●不登校児童生徒の学校復帰率(令和3年3月末現在) ・継続的に登校 小: 6% 中: 20% ・断続的に登校 小: 43% 中: 30% ・登校チャレンジ 小: 0% 中: 8% ●合計小学校は49%、中学校は58%の児童生徒が学校に復帰または、復帰しようとしている。 ・SSW rが関わった人数 小: 25名 中: 23名 ・スクールカウンセラーの相談件数 小: 延べ412件 中: 延べ290件 ・心の教室相談員の相談件数 中: 1054件 ●児童生徒の個々のニーズに合わせた相談体制をとることができた。
			学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費支払い	新入学学用品費支払い(早期支給分)		・就学援助については、予定どおり支給できた。新入学学用品費を2月中旬及び3月中旬に支給した。 ・特別支援教育就学奨励費についても計画的に支給した。	B	B	
				通学費補助金申請受付(年間分)	通学費補助金申請受付(年間分) 通学費補助金申請受付(3月分) 6件	・年2回受付分はほぼ計画どおり、3月25日受付分は4月に交付し適切に執行した。	B		<ul style="list-style-type: none"> ●適切に交付事務を執行することができた。

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画																	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月												
3 安心・安全な教育環境の充実	12 教育環境の整備 充実	1 学校施設の適正な維持管理	教育総務	維持補修工事（小鴨小プールサイド改修・高城小校舎箱種笠木他修繕・東中学校受水槽改修他）、修繕																	
				社小学校駐車場整備																	
				陸上競技場トラック等改修実施設計業務		設計業務契約		工事設計契約													
				陸上競技場トラック改修工事		(6/7)															
				陸上競技場3種検定備品購入	検定員協議・確認				入札準備												
				陸上競技場横トイレ感染症対策工事			設計業務契約	設計完了	工事開始 (9/30)												
		2 体育施設の整備・充実（陸上競技場改修等）	社会教育	スポーツセンター外壁調査業務入札・業務開始	5/17契約				8/31完了												
				温水プール自動ドア・非常用照明修繕業者決定・着手相撲場樹木伐採業務業務完了	修繕完了 庭球場横倒木伐採契約 (4/15)完了 (4/23)																
				体育施設12条法定点検		入札・業務開始				業務完了											
						(6/21)				(9/15)											
				庭球場人工芝改修工事（2期）			工事完了 (7/8)														
				射撃場法面動態調査業務		補正予算	現地確認等	入札準備	調査契約												
【災害復旧】 陸上競技場												※被災(7/8)被災状況確認	※被災(7/8)復旧工事着手 (7/14)完了 (7/29)	※被災(7/8)復旧工事着手 (7/14)完了 (7/19)	※被災(7/8)復旧工事着手 (7/14)完了 (7/19)	※被災(7/8)復旧工事着手 (10/5)完了 (10/20)	※災害査定トラック復旧工法等検討	※災害査定事後査定	※災害査定事後査定	※災害査定事後査定	※災害査定事後査定
												【災害復旧】 射撃場	【災害復旧】 相撲広場	【災害復旧】 庭球場	【災害復旧】 市営球場						
												土砂撤去着手 (7/16)完了 (8/20)									
13 学校の適正配置の推進	1 適正配置協議会、各地域説明会の開催	学校教育	小学校適正配置協議会開催	小学校適正配置協議会開催																	
			各地域説明会開催	検討委員会（成徳・明倫・灘手地区）設立、開催	検討委員会（成徳・明倫・灘手地区）開催	統合準備委員会（成徳・明倫・灘手地区）の設立、開催 検討委員会（成徳・灘手地区）開催	統合準備委員会（成徳・明倫・灘手地区）の開催														
			集合学習の実施																		

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
				明倫小学校五輪の 森災害復旧工事		<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定工事は概ね計画のとおり。 ・明倫小学校五輪の森災害復旧工事については、例年にならない天候及び関連工事（水道事業）との調整及び入札不調等により年度内完成が困難であると見込まれるため、令和4年度繰越とした。 	B		
設計業務完了 設計変更契約			設計業務完了 (1/14)			<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していなかった陸上競技場改修工事設計業務は、7月豪雨により履行期間を延長し、業務を完了した。 ・7月豪雨の影響により設計業務に時間を要し、年度内に工事を完了できないため、次年度に実施することとなった。 ・公認検定必備用具の購入については、予定通り納品し、納品等検査を完了した。 ・陸上競技場横トイレ感染症対策改修工事は、工事工程表のとおり実施し、工事を完了した。 ・予定通り業務を完了し、スポーツセンターの改修にあたり、外壁改修、屋上防水改修及び高架水槽（撤去、新設）改修工事を要する。 ・修繕額50万円未満のため、指定管理者により修繕し、業務を完了した。 ・櫻相撲大会開催前までに伐採を完了した。 ・予定通り、業務を完了し、体育施設の維持管理のため、修繕等の計画を検討する。 ・予定通り工事を完了した。8月1日から庭球場をオープンし、人工芝の庭球場となったことにより、利用者が増加した。 ・動態観測を実施中であり、調査完了後、射撃場の修繕等の検討を進める。 	B		
購入契約 (10/29)	入札・契約	納入(12/17)	入札・契約 (1/14)			完了予定 検定準備			
		工事完了 (12/24)				納入期限 (3/10)			
						調査完了 (3/25)			
設計業務契約 (10/11)	設計完了 (11/30)	設計完了 工事契約 (12/24)	工事発注			工事完了	A		
小学校適正配置協議会開催			小学校適正配置協議会開催						
統合準備委員会 (成徳・明倫・灘手地区)の開催	統合準備委員会 (成徳・明倫・灘手地区)の開催		統合準備委員会 (成徳・明倫・灘手地区)の開催	統合準備委員会 (成徳・明倫・灘手地区)の開催			B	B	<ul style="list-style-type: none"> ●成徳小・灘手準備委員会を設置し、令和5年度開校に向けて進行している。 ●上小鴨小学校PTA会長名で要望書が提出された。 ●高城、北谷地区の代表者が集まり、今後の方向性について調整を行っている。
						スクールバス補助申請			

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
4 たくましく健やかな心と体づくりの推進	14 人権尊重社会の担い手づくり	1 「学校教育における人権教育の方針」に基づく人権教育の推進	学校教育	4/13 第1回人権教育主任者会（市・県の取組）		第2回人権教育主任者会 学校公開時の道徳・学級活動の公開		第3回人権教育主任者会	・「いのちの安全教育」研修会の実施（407名の教職員が参加）
		2 学校満足度アンケートの活用、相談体制の充実	学校教育	欠席月3日連絡不登アセスメントシート作成と活用（年間）生徒支援委員会への出席		hyper-QU 生徒指導についての学校計画訪問（年間） 教育相談実施			
		3 いじめを許さない学校体制づくり	学校教育	生徒支援委員会への出席（指導主事・SSW r） 生徒指導主任主事研修会 月例報告（年間）による実態把握		倉吉市青少年問題対策協議会開催		生徒指導訪問の実施	生徒指導主任主事研修会
		4 情報モラル教育の推進	学校教育	小中学校9年間の年間指導計画の活用 情報機器の正しい活用の理解					

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
地区学習会計画訪問 学校公開時の道徳・学級活動の公開	東中校区同研(東中、成徳小、上灘小、灘手小) 第3回人権教育主任者会			第4回人権主任者会(各学校実践報告)オンライン実施		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため、校区同研の発表大会は中止し、書面発表となった。 人権主任者会は予定通り4回実施し、小中学校間の情報共有や児童生徒の実態に合わせた指導方法について協議を行い、実践に活かした。 	B		<ul style="list-style-type: none"> 学校教育審議会の委員より、以前に比べ人権学習の取組が低下してきているとの指摘があった。また、取組変化が無いとの指摘もあった。 本年度の人権教育主任者会では、部落問題学習のあり方、性の多様性に関する指導のあり方を研修し、学校の指導に生かせるようにした。また、子どもを性被害の加害者にも被害者にもしない、「いのちの安全教育」研修会を市内400名の教職員対象に行い、意識の高まりがみられた。
生徒指導についての学校計画訪問(年間)	hyper-QU 教育相談実施					<ul style="list-style-type: none"> 毎週生徒支援委員会が実施される3中学校以外は、3日欠席連絡により随時SSWRが聞き取りを実施。早期支援を実施した。 長期欠席30日以上の子童生徒について、アセスメントシートを作成し、実態把握とチームでの支援体制の構築を図った。 	B		<ul style="list-style-type: none"> 全国学力学習状況調査の結果 <ul style="list-style-type: none"> 「自分には良いところがあると思う」と回答した児童生徒の率 <ul style="list-style-type: none"> 小: 84% 中: 82.3% *成果指標 <ul style="list-style-type: none"> ㉠: 80%以上 B: 70%以上 C: 70%以下 「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の率 <ul style="list-style-type: none"> 小: 76.6% 中: 76.7% *成果指標 <ul style="list-style-type: none"> A: 80%以上 ㉠: 70%以上 C: 70%以下 小中学校の不登校率(令和3年12月末現在) <ul style="list-style-type: none"> 小: 1.17% 中: 5.64%
			生徒指導主任者会研修会	倉吉市青少年問題対策協議会開催延期		<ul style="list-style-type: none"> いじめ事案については、毎月生徒指導報告でその概要と指導を確認し、その後3ヶ月間は被害児童の様子聞き取りを行い完全にいじめ行為がなくなったことを確認した。 ケースによってはSSWRを派遣し、見守りや学校への助言を行った。 	B		<ul style="list-style-type: none"> 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の率 <ul style="list-style-type: none"> 小: 98.5% 中: 97.3% *成果指標 <ul style="list-style-type: none"> ㉠: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以下 いじめを受けた児童生徒の人数 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 <ul style="list-style-type: none"> 小: 53名 中: 112名 令和3年度 <ul style="list-style-type: none"> 小: 27名 中: 66名 件数は減っているが、学校によって意識の違いがある。また、起こったあとの個別対応は行うが、全体指導の弱さがある。来年度は鴨川中学校をいじめ問題研究指定校とし、県と協働して取り組み、全市に広げていく予定である。
情報機器の活用					小中学校9年間の年間指導計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 計画訪問にて各学校での情報教育について説明を受け、どの学校も児童生徒の実態に応じて実施していることを確認した。 本年度はSNSトラブルが減少したが、オンラインゲームへの課金、昼夜逆転等が増加し、家庭でのルール作りが急がれる。 	B		<ul style="list-style-type: none"> ネットトラブルの件数 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 5件 (9人) 令和2年度 15件 (24人) 令和3年度 5件 (10人) (1月未現) *成果指標 <ul style="list-style-type: none"> ㉠: 50%以上減 B: 20%減 C: 5%減

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画							
				4月	5月	6月	7月	8月	9月		
4 たくましく健やかな心と体づくりの推進	15 たくましい体の育成	1 学校体育の充実	学校教育	運動部活動指導者・部活動指導員の活用	全国体力・運動能力、運動習慣等調査実施	運動部活動指導者・部活動指導員研修会				運動部活動指導者・部活動指導員研修会	
		2 スポーツ推進に関する重要事項の調査審議	社会教育	スポーツ推進審議会							
		3 スポーツ活動機会の充実・子どもの年齢（成長）による体力づくりの推進	社会教育	体育施設 通常営業							モニタリング 事業振り返り
				温水プール 夏期時間営業 10時～21時							夏期時間終了 (9/30)
				海洋センター 開館 (4/1)							閉館 (9/30) モニタリング 事業振り返り ヒアリング
				学校開放 業務委託契約 業務開始 各学校施設利用調整・開放等							
				スポーツ少年団 ・市スポーツ少年団総会 ・市スポーツ少年団バレーボール交流大会	中部地区交流大会 ・軟式野球 (5/15～16) ・ミニバス	中部スポーツ交流野球大会	県スポーツ少年団軟式野球交流大会			県スポーツ少年団ミニバス交流大会 ・中部地区バドミントン交流大会	
				体育施設 各種教室					障がい者スポーツ教室開始		
				温水プール 各種教室							
		海洋センター各教室 ・小中学生カヌー教室	大人のカヌー教室								
		各種大会 イベント ・櫻相撲大会		SUN・IN 未来ウォーク				中部駅伝 (中止)			
		4 生涯・障がい者スポーツによる体力づくりの推進	社会教育	スポーツ推進委員 ・市協議会総会 ・第1回役員会	第1回講習会 ・第1回研修部会 ・第1回地域活動推進部会	県スポーツ研究大会 (6/19～20) ・第1回実技研修会 ・第1回イベント事業部会	第2回地域活動推進部会 ・第2回イベント事業部会	郡市スポーツ研修会 ・第2回研修部会	第2回役員会 ・第3回イベント事業部会		
				地区スポーツ教室	スポーツ教室 ・体力測定						
				障がい者スポーツ実態調査 対象調査・具障がい者スポーツ協会協議開始			実態調査開始	調査結果集計	課題整理		

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	運動部活動指導者・部活動指導員研修会	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果	全国体力・運動能力、運動習慣等の分析・課題改善	運動部活動指導者・部活動指導員研修会			B		●新体力テストの結果 ・「おおむねよし」と判定された児童・生徒の割合 小：72.8% 中：67.3% *成果指標 A：80%以上 B：50%以上 C：50%以下 ●今後も各学校で運動時間の確保、体力テスト結果を踏まえての内容検討を行う。
第1回審議会 10/29					第2回審議会 3/18 (中止：書面)	・中学校部活動の地域移行に関する調査研究を学校教育課と協力し実施し方向性等を検討	B		
		関金ラグビー場 オープニングイベント(12/5)				・体育施設での集団ワクチン接種の中止により、通常閉館			●新型コロナウイルス感染拡大が止まらない中、各種スポーツ活動に関する事業の在り方を検討する必要がある。このため、各事業の現状等を再度確認し、令和4年度は第3期教育振興基本計画に準じた事業を計画する。
冬期時間営業 10時～20時 モニタリング				特別休館 ※施設整備に伴う1週間の休館	冬期時間終了 (3/31)	・予定通り、実施できている。 ・冬期時間終了(3/31)			●指定管理者による各種教室は、コロナの影響から参加者は減少しているが、指定管理者の努力により維持している状況。
閉館期イベント等 準備開始 事業ヒアリング		リレーマラソン (中止)		ノルディック ウォーク	天体教室 ホイトランタン 謎解き探検隊 (中止)	・予定通り、実施できている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から閉館期のイベントを中止した。	B		●海洋センター下半期新規事業については、事務的な準備は進めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から中止している。
					新年度企画運営委員選出 実績報告等	・感染状況により、施設使用の中止等を適時行った。			
				利用停止(1/24)					
	・加藤伸一杯交流 野球大会 ・加藤伸一野球教室 ・中部地区バレー ボール交流大会	・県スポ少バレー 交流大会	・市スポ少キッズ バレーボールリ ンガ交流大会	活動停止(1/24)		・新型コロナウイルスの影響により、県大会等の予選会を兼ねる交流大会を除いて、ほとんどの事業を中止した。 ・県内全域での特別警報発令に伴い、スポーツ少年団活動を中止した。	B		
						・予定通り、実施している。			
						・予定通り、実施している。			
						・コロナの影響で利用者の減があったが、実施できている。			
・女子駅伝(中止) ・日本海駅伝(中止) ・市民体育大会	・米島開駅伝(中止)		・市ニュースポーツ交流会(中止)	・市スポーツ表彰(表彰式中止)		・中部駅伝は7/7の大雨の被害により中止となった。 ・櫻相撲大会は4/25に予定通り実施した。 ・女子駅伝、日本海駅伝は新型コロナウイルスの影響により大会中止となったが、来年度開催に向けた大会機運情勢を図るため、特別号を発刊した。			●スポーツ少年団活動について、各大会は新型コロナウイルス感染拡大により中止され、令和4年1月24日から同年2月11日まで活動を停止したため、多くの苦情をいただき、各々個別に事情説明し理解していただくように努めた。
	・全国スポーツ推進委員研究協議会(中止)		・第2回講習会	・講習会(中止)	・決算監査	・新型コロナウイルスの影響で多くの事業が中止となった。 ・専門部会内での協議が定着し、経験の浅い推進委員を中心に、委員の自主性、積極性が生まれた。	B		●各種大会・イベント等についても概ね中止となったが、各地区スポーツ教室については、感染防止対策を行った上で実施している。
						・感染対策に留意しながら、各スポーツ推進委員が中心となり教室を開催した。	B		
審議会提出 結果公表	実態調査に関する協議再開	実態調査項目決定	実態調査	集計	講評	・実態調査には着手できていない。	C		

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
16	学校給食の充実、食育の推進	1 栄養教諭などによる学校での食に関する指導	学校給食センター	指導計画作成及び指導案提示 全学級訪問指導（教科等での指導） 給食時間を使った食に関する指導 1回						
					・教科・学活等を使った食に関する指導 ・学校保健委員会	6回	14回	1回	16回	
						1回	9回	5回	15回	
		2 親子で学ぶ食の教室の実施	学校給食センター				・親子で学ぶ食の教室	1回	1回	
		3 スポーツ振興に関する食育の推進	社会教育	スポーツ栄養研究会事業について検討開始	スポーツ栄養研究会との協議開始	事業計画検討(中止)				
17	体育・スポーツの振興	1 スポーツ団体の育成・指導者の養成	社会教育	市体育協会 総会	市民体育大会準備開始	実行委員会・総会	・大会要項等作成 ・市体育協会総会(書面決議) ・市民体育大会実行委員会(書面決議)	・役員委嘱 ・参加募集	・プログラム等作成	
				スポーツ少年団 総会	・指導者制度説明会		・第1回スポーツ研修会【栄養】延期 ・登録締切	・登録事務	・指導者養成講習参加者募集	
				各種補助 市体育協会補助 交付決定					第1回概算支払	
				スポ少指導者助成 要綱作成					助成対象者決定	
				全国大会補助 通年						
				櫻相撲補助 交付決定						
				日本海駅伝補助 交付決定						
				各種研修 講師決定 内容具体化		第1回スポーツ研修会 【熱中症予防】 【栄養】(中止)				
				2 競技スポーツの振興・障がい者スポーツの普及・啓発	社会教育					

4 たくましく健やかな心と体づくりの推進

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
21回	11回	7回	4回		1回	・給食主任や学級担任等と連携しながら、望ましい食習慣の定着につながるよう、栄養教諭・学校栄養職員による全学級訪問指導を175回実施した。	A	●残食率は、前年度の2.5%から今年度は3.3%とやや増加した。 ●小中学校9年間を通じた計画的な食に関する指導により、児童生徒の「食に対する理解と関心」を深めることができた。	
18回	34回	7回	4回						
		2回	学校給食週間行事の実施 献立作品の展示 (1/21～2/1倉吉交流アサ)	11回	2回				
2回	11回	3回			1回	・児童を対象にした「親子で学ぶ食の教室」を小学校を会場に19回実施した。 ・保護者に対しては、親子で作ってもらえるよう「給食メニューのレシピ」を配布し、家庭での食育の啓発を図った。	A	●学校、保護者等と連携しながら、児童生徒全員に食物アレルギー用献立表で情報提供するとともに、個別に除去食・代替食を提供するなど食物アレルギー対応した結果、食物アレルギー事故の防止を図ることができた	
	事業化し当初予算反映(中止)				協議再開予定	・感染が収束せず、研修会の開催はできなかった。	C	●栄養士団体との協議を4月から開始したが、医療関係者等が多く協議を延期され、途中での協議を申し入れるが、現状では対応できないとのことであったため、協議を中断し、令和4年度以降に再開することとした。	
・市民体育大会実施	・スポーツ表彰準備開始 推薦依頼	・副賞等購入	・選考委員会	・スポーツ表彰 ・表彰式	・決算監査	・市民体育大会は、感染症対策を講じ実施することができた。 ・スポーツ表彰は表彰式典は中止したものの、学校、競技団体を通じて表彰することができた。	B	●各種研修会についても、新型コロナウイルス感染拡大により中止。 ●スポーツ少年団指導者養成についても一時開催が危ぶまれたが、開催され、新規事業として実施した補助金も予定どおり執行した。	
	・スポーツ指導者養成講習 ・第2回スポーツ研修会 【ケガ予防】	・指導者養成講習			・決算監査	・指導者資格の負担軽減のため、体育協会を通じて指導者資格取得の助成をおこなった。	C		
第2回概算支払			第3回概算支払		額の確定 清算		B	●各種補助事業については、全て執行しており、全国大会補助は中止される大会があったものの、概ね例年程度の参加件数に補助を交付。 ●桜相撲補助は、規模を縮小され実施。日本海駅伝は準備段階で中止されたため、必要経費のみを補助対象として交付している。 ●体育協会補助についても、多くの大会等が中止されたため、一部補助金を市へ返還する予定。	
助成金支給 変更交付決定					額の確定 精算				
		額の確定				・24件 1,253,000円 (2/28時点) ・コロナ対策の上、実施された全国大会終了後、報告書等を確認し補助金の支出を完了した。	B	●障がい者スポーツの実態調査については、調査の事前確認の中で、個人情報に類する情報となり、障がいがあることを公表されない方もあることが判明したため中止した。ただし、体育施設指定管理者により、障がい者スポーツ教室を実施されている。	
	額の確定					・コロナ感染拡大防止の観点から、大会を中止したが、来年度に向け特別号を発刊した。	B		
	第2回スポーツ研修会 【ケガ予防】	第3回スポーツ研修会 【障がい者スポーツ】	第4回スポーツ研修会 【小学生体力・競技力】			・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催しなかった。	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
5 文化資源の保存・活用と文化・芸術の振興	18 倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成	1 小中学生リーダー会議	学校教育	地域と連携した取組(年間)	倉吉市小・中学生代表者会の開催					共同区域種子散布中学生関係機関訪問
		2 くらし風土記の活用	学校教育	小学生向け「わたしたちの倉吉」の活用 「わたしたちの倉吉」内容の見直し 「倉吉くらし風土記」の活用・中学生向け「くらし風土記」の配布(新入生)				「わたしたちの倉吉」改定委員会		
		3 地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動の推進	学校教育	地域教材・ゲストティーチャーを活用した学習(年間)名 ふるさと学習の計画 北谷小:郷土めぐり/全校59名 灘手小:遠足/全校35名 高城小:遠足/全校77名 明倫小:遠足/全校135名 社小:遠足法華寺/304名 上小鴨小:あたごハネグ/全校57名	ふるさと学習の実施 河北小:遠足/全校365名 明倫小:地域探索/3年14名 明倫小:地域探索/3年14名 上灘小:地域巡り/41名 高城小:遠足/全校77名 灘手小:遠足/全校35名 上小鴨小:ハネグ/全校57名	成徳小:スイートランドカワ工場-3年18名 明倫小:町探検/2年23名 高城小:下水道公社、リサイクルセンター/4年10名 上灘小:天神浄化センター/4年54名 小鴨小:写生会/6年61名 関金小:牛飼い体験/4年22名 成徳小:下水道公社/3年35名 西郷小:スイートランドカワ/3年35名 小鴨小:探検/2年53名 上小鴨:天神野台地/4年13名 明倫小:円形劇場/3年14名 灘手小:天神浄化センター/4年8名 上灘小:大栄選果場/5年55名 明倫小:探検/2年生23名 西郷小:町探検/2年生40名 小鴨小:町探検/2年53名、町探検/2年53名 高城小:倉吉博物館、警察署、消防署/3年17名 上北条小:リサイクルセンター、浄化センター/4年17名	博物館等を利用した学習 まち探検(生活科、社会科) 青少年劇場 地域の文化財を活用した体験活動			

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
クリーン活動			取組報告会(オンラインで実施)	地域と連携した取組報告会 中学生関係機関訪問		B		●児童生徒が他校の取組に刺激を受けながら、来年度の取組についてしっかりと話し合うことができた。
	「わたしたちの倉吉」改定委員会内容の見直し				活用状況の確認 「わたしたちの倉吉」改定 活用状況の確認	B		●くらし風土記の活用 ・倉吉学検定結果(正答率) 80点 0.4% 60点 26.2% 40点 72.6% 20点 0.8% ●くらし風土記の活用について各学校で工夫を行う。(朝読書、風土記クイズラリー等)
	河北中学校実施	「倉吉学検定」の実施(中学校)久米中学校実施	鴨川中学校、東中学校実施	西中学校実施	結果集計と各校へ通知			
	芸術鑑賞教室							
青少年劇場					ふるさと学習の実績確認・成果と課題の把握			
					成果と課題の把握			
灘手小:下北条Aコープ/3年6名 上北条小:明治製作所、天神川等/5年29名 関金小:浄化センター、野ウサギセンター/4年27名 上北条小:打吹公園、未来中心/1年18名 上小鴨小:生活科未来中心、図書館、円形劇場/2年6名 河北小:河北プラザ/3年57名 高城小:久米製材所、栽培漁業センター/5年12名 明倫小:ヒナカ/3年14名 上灘小:探検/1年42名 西郷小:生活科打吹公園/1年34名 西郷小:とっとり琴浦、林養漁場-5年37名 河北小:生活科打吹公園/1年24名 北谷小:ふるさと県学/5,6年17名 河北小:生活科打吹公園/1年23名 西郷小:遠足-全校225名 河北小:生活科打吹公園/1年23名 明倫小:町探検/2年24名 小鴨小:遠足/全校364人	高城小:生活科図書館・市営プール/2年14名 成徳・灘手小:西倉吉消防署見学/3年25名 関金小:生活科打吹公園/1年20名 上灘小:北栄町由良宿/4年54名 消防署/3年41名 社小:西倉吉消防署/3年54名 北谷小:伯耆三宮倭文神社/3年11名 成徳小:散策ウォーク/全校129名 高城小:芋の収穫/3,5年29名 上小鴨小:衣笠さん牛舎/2,3年16名 上北条小:まなびの森、消防署、白壁土蔵群/3年27名 明倫小:消防署、通信指令センター/3年14名 関金小:丸合/3年17名 河北小:消防署、警察署/2年52名 明倫小:野ウサギセンター、下水道公社/4年31名 灘手小:高校との交流/1,2年8名 上北条小:人権学習/6年27名 北谷小:地層見学/6年12名 社小:農高体験/1年47名 上灘小:梨記念館、市立図書館/2年47名	灘手小:委員会活動(古紙の再利用)/4,5,6年5名 上小鴨小:小鴨小との交流/4年13名 上小鴨小:高架橋工事見学/2,3年16名	社小:倉吉博物館/3年63名	北谷小:倉吉博物館、白壁土蔵群、淀屋/3年11名 上灘小:倉吉博物館、歴史民俗資料館/3年41名		B		●各小中学校がそれぞれの教育課程にあわせて、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学ぶことができた。 ●行政評価(児童生徒対象アンケート) ・「くらしが好き」の設問 小91.4% 中71.8% 全体85% ・肯定的回答の割合 A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:60%未満
						B		●新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、各小中学校が教育課程に沿って市内の施設見学などを計画し、実施した。

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
5 文化資源の保存活用と文化・芸術の振興	19 文化財の保存、活用、伝承	1 伝建地区の災害復旧・保護(修理・修景事業)	文化財	伝建審議会	特定物件2件追加 5/7告示	第1回伝建審議会 書面審議 6/15			第1回現状変更部会 9/3
				修理修景1243棟 現状変更行為申請許可32件	全国伝建地区協議 会総会(中止)	保存活用計画改正 (案)策定		文化庁Web協議	保存活用計画改正 保存条例改正 補助金交付要綱改正
				災害復旧12棟		文化庁中間報告		文化庁中間報告	
				令和4年事業		文化庁中間報告		文化庁中間報告	
				啓発事業 市新規採用職員研修					令和4年度 県費計画提出
		2 指定文化財の整備・保護	文化財	文化財保護審議会		文化財管理報奨金			文化財保護審議会 (第1回)
				史跡維持管理 法華寺埋蔵跡 みどり(中止)	伯耆国分寺跡、法華寺畑遺跡、大御堂庵寺跡、伯耆国庁跡、阿弥陀寺墳丘墓				除草作業及び植栽維持管理
				大御堂庵寺跡整備事業 利用団体説明会		基本設計業務6/18~ 整備説明会 (上灘館長会) 利用団体説明会	整備検討委員会 (第1回) (書面表決) 整備説明会 (県美応援団)	設計検討部会(Web) (第1回) 整備説明会 (倉吉OG協会)	身障者団体協議
				小川氏庭園保存処理					観光地モビリティ計画参画
				定例会	定例会	定例会	定例会		定例会
				桑田家住宅修理					
				高田家住宅修理	(中止)				
				大日寺阿弥陀如来坐像修理					
				【繰越】大日寺木造菩薩形立像修理					完了
				地藏院仏像防犯対策事業					
3 埋蔵文化財の発掘調査	文化財	両長谷遺跡第2次発掘調査					調査報告書作成		
		中尾遺跡第3次発掘調査							
		中尾遺跡出土鉄器保存処理保存処理							
		市内遺跡 発掘(試 【計画】 不入岡地区 (個人住宅)	国府A地区 (県道改良)	上神地区 (太陽光発電)	国府B地区 (農業用管水路)	史跡大御堂庵寺跡 (北築地塀確認) (歴史活き活き)	志津地区 (災害対策)		
		【実施・変更】 不入岡地区 (個人住宅)	大谷A地区 (個人住宅)	国府B地区 (農業用管水路)		向野遺跡第4次発掘調査 (大谷A地区・個人住宅)	上神地区 (太陽光発電)		
遺物整理作業									

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
	文化庁現地指導 伝建地区懇話会 (中止)	第2回伝建審議会 12/16 文化庁中間報告	文化庁中間報告		第2回現状変更部会 3/22 中四国伝建ブロッ ク会議(Web)3/3 1件R4年度に繰越	B		●伝建地区では、保存計画を保存活用計画に改正したことにより、歴史的景観の保全だけではなく、地域の活性化、保存地区の生活環境、文化基盤の向上につながる取り組みができるようになった。
		文化庁中間報告	文化庁中間報告					
県費ヒアリング 10/7	成徳小学校3年生ふるさと学習	令和4年度事業説明会	国費ヒアリング	令和4年度国費申請	令和4年度修理修景事業 8件10棟			
河北中学校1年生総合的学習	成徳小学校3年生ふるさと学習			伝建修理事業報告会 (報告書配布)		B	B	●空き家の増加、住民の高齢化などの問題が深刻化しているため、個別の修理相談や関係機関との連携などを行うことにより、問題解決につながる必要がある。 ●大御堂廃寺跡と県立美術館との活用の相乗効果が発揮され、史跡の価値を学び次世代に継承する、多くの市民が集い、学び、憩える史跡整備の基本設計となった。 ●小川氏庭園「環翠園」の一般公開により、文化財の活用と観光資源開発につながった。 ●指定文化財については順次修理等を行い、貴重な市民の財産である文化財の継承ができています。 ●より多くの市民に倉吉の文化財を知っていただき、倉吉に愛着と誇りを持てるように啓発活動を推進していく。 ●埋蔵文化財の発掘調査により、古代の生活等が伺い知れ、歴史の解明の一助となった。 ●開発事業者等と協議を行い、日程調整により対応ができており、開発行為と埋蔵文化財の保護の両立ができた。
(8/28~10/29) 防災部会	消防講習会	大掃除		伝建修理事業報告会 (報告書配布)				
		未指定文化財調査 ・名越家庭園 ・小谷家庭園 ・小林家庭園	災害復旧指導 ・三明寺古墳 ・荒尾家墓所 ・塚ノ山古墳		法華寺遺跡 南門木橋修理 ~3/10 利用団体説明会 (書面通知) 発信！大御堂廃寺 市報掲載 整備説明会 (高城コミセン)			
設計検討部会(Web) (第2回) 利用団体説明会	設計検討部会 (第3回) 文化庁協議(Web) 利用団体説明会 「環翠園」 一般公開 11/3~	整備検討委員会 (第2回)	利用団体説明会 文化庁協議件現地 指導 整備説明会 (博物館講座)	整備検討委員会 (第3回) 発信！大御堂廃寺 市報掲載	利用団体説明会 (書面通知) 発信！大御堂廃寺 市報掲載 整備説明会 (高城コミセン)	B	B	●小川氏庭園「環翠園」の整備により、11月3日から一般公開となった。 ●指定文化財の修理等の補助事業は、概ね計画とおり行うことができた。 ●市民団体等との連携事業は、コロナ禍により延期、中止になったものもあるが、延期のものは準備はできているので、コロナ禍が収まれば来年度に実施する。 ●体験教室、他団体との連携や「文化財さんぽ」の市報掲載により文化財の啓発活動を行った。 ●コロナ禍ではあったが、主催イベントを行い旧牧田家住宅の公開と活用を行った。
管理運営委員会 書面報告 倉吉餅展示会 生け花展 邦楽演奏会					管理運営委員会 書面報告 消防訓練	A	A	●平成31年度から令和元年度にかけて行った両長谷遺跡第2次発掘調査の調査報告書を作成した。 ●令和元年度から3年度にかけて行った中尾遺跡第3次発掘調査が完了した。令和4年度に調査報告書を作成する。 ●当初の予定にある発掘(試掘)調査だけでなく、新たに依頼された4件の試掘調査や必要となった発掘調査に対応できた。
倉吉ライオンズクラブ ライオンズデー 岩倉城散策 (小鴨地区振)	文化財協会 文化財見学会 建造物めぐり (旧牧田家・環翠園)	文化財協会 「倉吉学講座」 「文化財さんぽ」 市報掲載	文化財講演会 伯耆国府(中止)	文化財協会 倉吉学講座(延期)	倉吉ライオンズクラブ 文化財ウォーク準備 文化財協会 「講演会」(延期) 波波伎神社社叢 説明看板設置			
国府B地区 (農業用管水路)	福光A地区 (保育園建設)	福光B地区 (県道歩道整備)				A	A	●平成31年度から令和元年度にかけて行った両長谷遺跡第2次発掘調査の調査報告書を作成した。 ●令和元年度から3年度にかけて行った中尾遺跡第3次発掘調査が完了した。令和4年度に調査報告書を作成する。 ●当初の予定にある発掘(試掘)調査だけでなく、新たに依頼された4件の試掘調査や必要となった発掘調査に対応できた。
国府B地区 (農業用管水路)	国府A地区 (県道改良)	国府B地区 (農業用管水路)	大御堂廃寺跡第6次調査 (北築地掘確認)	大御堂廃寺跡第6次発掘調査報告書作成	志津地区 (災害対策)			
大谷B地区 (個人住宅)			駄経寺町2丁目 (県立美術館建設)					
大谷C地区 (個人住宅)								

6 教育委員会の主な動向

(1) 教育長・教育委員の在任状況

(R 4. 3. 31 現在)

職名	氏名	年齢	就任年月日	任期	保護者
教育長	小椋 博幸	63	R 3.10. 3	R 6.10. 2	
教育長職務代理者	福井 真喜代	69	H30.10. 8	R 4.10. 7	
委員	田民 義和	64	R 2.10. 5	R 6.10. 4	
委員	高橋 義博	59	R 4. 1. 1	R 7.12.31	
委員	西田 江美	47	R 1.10. 5	R 5.10. 4	○

①委員の異動（市長が任命）

令和3年10月3日付で小椋博幸教育長が再任された。

令和4年 1月1日付で高橋義博委員が再任された。

(2) 教育委員会の会議

(R 3. 4. 1～R 4. 3. 31)

会議名	回数	備 考
教育委員会	16	議案40件、協議事項7件、報告事項188件

(3) 教育委員会の開催状況

4月23日第6回定例会

議 案（ 1件） 議案第24号 倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について

協議事項（ 2件） 令和2年度倉吉市の重点施策の実績及び評価について
令和3年度倉吉市の重点施策に基づく実施計画について

報告事項（21件） 教育長報告ほか20件

5月26日第7回定例会

議 案（ 3件） 議案第25号 令和3年度教育費補正予算について

議案第26号 令和2年度倉吉市教育行政の点検及び評価について

議案第27号 令和3年度倉吉市の重点施策に基づく実施計画について

報告事項（10件） 教育長報告ほか9件

6月25日第8回定例会

議 案（ 3件） 議案第28号 倉吉市立成徳小学校と倉吉市立灘手小学校の統合について

議案第29号 市立小学校教職員の処分について

議案第30号 市立小学校教職員の処分について

報告事項（13件） 教育長報告ほか12件

7月19日第9回臨時会

議案(1件) 議案第31号 令和3年度教育費補正予算について

7月26日第10回定例会

議案(2件) 議案第32号 倉吉市伝統的建造物群保存地区保存条例及び倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区における建築基準法の制限の緩和に関する条例の一部改正について
議案第33号 市立小学校教職員の処分について
報告事項(20件) 教育長報告ほか19件

8月25日第11回定例会

議案(4件) 議案第34号 令和3年度教育費補正予算について
議案第35号 倉吉市伝統的建造物群保存事業補助金交付要綱の一部改正について
議案第36号 学校給食センター調理等業務委託業者評価委員会設置要綱の制定及び評価委員の委嘱又は任命を教育長が専決することについて
議案第37号 市立中学校教職員の処分について
協議事項(1件) 倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区保存活用計画について
報告事項(15件) 教育長報告ほか14件

9月24日第12回定例会

報告事項(17件) 教育長報告ほか16件

10月22日第13回定例会

議案(1件) 議案第38号 市立中学校教職員の処分について
協議事項(1件) 令和3年度倉吉市教育委員会重点施策に基づく実施計画の進捗状況について
報告事項(18件) 教育長報告ほか17件

11月4日第14回臨時会

議案(1件) 議案第39号 倉吉市教育委員会事務局職員の処分について

11月22日第15回定例会

議案(6件) 議案第40号 令和3年度教育費補正予算について
議案第41号 倉吉市立小学校及び中学校管理規則及び倉吉市教育委員会事務局組織等に関する規則の一部改正について
議案第42号 倉吉市立学校事務職員の標準的な職務の内容及び職務の遂行に関する要綱の制定について
議案第43号 倉吉市共同学校事務室運営要綱の制定について
議案第44号 倉吉市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第45号 倉吉市フリースクール利用料助成事業補助金交付要綱の制定について

- 協議事項（ 2件） 令和4年度学校閉庁について
令和3年度末倉吉市学校教職員人事異動方針について
報告事項（18件） 教育長報告ほか17件

12月22日第16回定例会

- 議案（ 2件） 議案第46号 倉吉市教育委員会ハラスメント防止要綱の制定について
議案第47号 市立中学校教職員の処分について
報告事項（21件） 教育長報告ほか20件

1月26日第1回定例会

- 協議事項（ 1件） 令和3年度倉吉市教育委員会表彰について
報告事項（13件） 教育長報告ほか12件

2月15日第2回臨時会

- 議案（ 6件） 議案第1号 令和3年度教育費補正予算について
議案第2号 令和4年度教育委員会主要事業について
議案第3号 令和4年度教育費当初予算について
議案第4号 倉吉パークスクエアの設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第5号 倉吉市高校生等通学費助成事業補助金交付規則の一部改正について
議案第6号 倉吉市文化財保存・保護事業補助金交付要綱の一部改正について
報告事項（12件） 教育長報告ほか11件

3月8日第3回臨時会

- 議案（ 1件） 議案第7号 令和3年度末倉吉市学校教職員人事異動について

3月15日第4回臨時会

- 議案（ 1件） 議案第8号 市立小学校教職員の処分について

3月25日第5回定例会

- 議案（ 8件） 議案第9号 令和4年度倉吉市の教育方針と重点施策について
議案第10号 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
議案第11号 地域学校委員会委員の任命について
議案第12号 倉吉市教育委員会事務局等組織規則の一部改正について
議案第13号 倉吉パークスクエア広場の管理に関する規則の制定
議案第14号 倉吉市教育委員会所管施設の使用料等の減免に関する規則の一部改正について
議案第15号 倉吉市立図書館の管理及び運営に関する規則の一部改正について
議案第16号 行政委員会等に対する事務委任及び補助執行に関する規則の一部改正について
報告事項（ 10件） 教育長報告ほか9件

(4) 総合教育会議の開催状況

5月26日第1回総合教育会議

- 報告事項（ 1件） 令和2年度倉吉市教育行政の点検及び評価について
 協議事項（ 5件） 倉吉市教育に関する施策の大綱（案）について
 高校進学状況について
 いじめ、不登校問題について
 ICT環境整備について
 令和3年度倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施計画について

12月22日第2回総合教育会議

- 協議事項（ 4件） いじめ・不登校問題について／GIGAスクール構想について
 今後の少人数学級のあり方について
 小学校適正配置推進計画の進捗について

(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加

① 学校計画訪問

R3. 7. 2	西郷小学校計画訪問
R3. 7. 6	西中学校計画訪問
R3. 7. 12	久米中学校計画訪問
R3. 10. 6	鴨川中学校計画訪問
R3. 10. 12	高城小学校計画訪問

R3. 11. 1	上小鴨小学校計画訪問
R3. 11. 9	河北小学校計画訪問
R3. 11. 15	社小学校計画訪問
R3. 11. 19	成徳小学校計画訪問

② 意見交換会 令和3年度は未実施

③ 諸行事への出席

R3. 4. 2	宣誓式
R3. 4. 9	倉吉市立小学校入学式
R3. 4. 9	倉吉市立中学校入学式
R2. 4. 24	特別展「片岡鶴太郎展 顔 - Faces -」開幕式
R2. 4. 28	鳥取県教育審議会学校教育分科会
R3. 5. 8	倉吉市小学校PTA連合会定期総会
R3. 5. 22	小学校運動会（河北小・明倫小・上灘小・小鴨小・北谷小・高城小・上北条小）
R3. 5. 29	小学校運動会（西郷小・成徳小・社小・関金小）
R3. 6. 14	第66回倉吉市美術展覧会開会式
R3. 6. 27	第66回倉吉市美術展覧会表彰式
R3. 8. 3	第26回鳥取県図書館大会

R3. 8. 23	令和3年度 鳥取県都市教育長協議会
R3. 9. 11	中学校運動会（河北中・東中・西中・久米中・鴨川中）
R3. 9. 17	小学校運動会（上小鴨小）
R3. 9. 18	令和2年度倉吉市成人式（オンライン）
R3. 9. 19	小学校運動会（灘手小）
R3. 10. 31	小川氏庭園「環翠園」内覧会
R3. 11. 17	東伯郡倉吉市教育委員合同研修会
R3. 12. 5	関金ラグビー場オープニングイベント
R3. 12. 12	中部ハイスクールフォーラム2021
R4. 1. 3	令和3年度倉吉市成人式
R4. 3. 11	中学校卒業式
R4. 3. 18	小学校卒業式
R4. 3. 21	倉吉市創作文華展表彰式